

生産現場 AI 活用相互研鑽事業 「基礎コース（画像分類）」

参加企業募集要領

1 事業目的

県内自動車組立メーカーの生産現場における AI 画像検査のノウハウを展開することで、生産現場内で AI を活用できる人材を育成し、地域企業の生産ライン改善・生産性向上を図ることを目的に各種支援を実施するもの。

2 支援対象

AI 画像検査による生産現場の省人化・自動化を目指す県内製造業者 1 社

3 支援内容

支援対象となる企業に所属する従業員を対象に、良品・不良品の画像を AI に学習させ、自動で製品の OK/NG 判定を行う「画像分類」についての講座を実施するとともに、AI 画像検査装置の工程への実装を支援するもの。

なお、講座の詳細な実施時期及び回数、学習内容、講師、会場は別表のとおり。

4 講座受講者

支援対象となる企業は従業員 2 名を選出し、「3 支援内容」に記載の講座に派遣するものとする。

なお、プログラミング経験の有無は問わないが、企業の生産現場・工程を熟知する従業員が望ましい。また、従業員派遣にあたっては、派遣元の勤務割当調整等に十分配慮するものとする。

5 参加費用

講座受講料は無料。ただし、受講に必要となる AI 学習用ノート PC、カメラ、センサ等の機材（1 名あたり概ね 5 5 ～ 6 0 万円程度）は支援対象となる企業の負担により用意するものとする。

なお、必要機材については、受講決定後に通知するものとする。

6 応募方法等

申込フォームに必要事項を記入の上、応募するものとする。必要に応じて応募のあった企業を訪問し、AI 画像検査導入を検討する工程等についてヒアリング・生産現場確認を行うこととし、応募企業が 2 社以上あった場合は AI 画像検査導入による生産性向上、改善の効果見込みにより選考を行う。

なお、技術的に対応困難と判断される応募企業・工程については事業の対象としない場合がある。

7 応募期間

令和 8 年 2 月 2 4 日（火）から令和 8 年 3 月 1 1 日（水）まで。

ただし、多数の応募があった場合は早期に募集を終了することがある。

8 成果報告会

支援対象となる企業は全ての支援終了後、AI 画像検査導入による改善効果等を発表する成果報告会を開催するものとする。

「基礎コース（画像分類）」の実施スケジュール等

実施時期	講座回数	主な学習内容	講師	会場
4～5月	4～5回程度	プログラミング学習 (Python)	宮城県産業技術 総合センター	宮城県産業技術 総合センター
6～7月	4～5回程度	I/O、カメラ取扱い	宮城県産業技術 総合センター	宮城県産業技術 総合センター
8～9月	4～5回程度	AI 学習（画像分類）	宮城県産業技術 総合センター	宮城県産業技術 総合センター
10～2月	4～5回程度	号口化（実装トライ）	トヨタ自動車 東日本株式会社	実施企業会議室 及び生産現場

※ 具体の講座開催日程は受講決定後に調整するものとする。

※ 1回あたりの講座時間は概ね午前10時から午後4時までを目安とするが、この点も受講決定後に調整する。

※ 実施時期及び講座回数は学習進捗や取組テーマにより前後、増減する可能性がある。